

新潟市の自転車政策

新潟市土木部土木総務課
小林 久剛



1. 新潟市の特徴



開港五港の一つ
歴史あるみなとまち



市章

日本一長い川「信濃川」の
河口部に位置するまち

- ・ 全国市町村で日本一の水田耕地面積
- ・ 高い拠点性と広大な田園環境を合わせもつ
本州日本海側唯一の政令指定都市
- ・ 人口759,891人（令和7年8月末現在）



2. 能登半島地震被害と液状化対策

令和6年能登半島地震の影響により、本市では最大震度5強を観測するとともに、津波警報の発表がありました。

被害の特徴として、西区を中心とする砂丘縁辺部や旧河道など、地下水位が高い地域で、集中的に液状化現象が発生したため、大量の砂や水が地表に吹き出し、道路の損傷や住宅等の建物の傾斜や沈下が多数発生しました。



西区寺地地内



西区寺尾上地内



中央区関屋田町地内

3

3. 交通インフラ



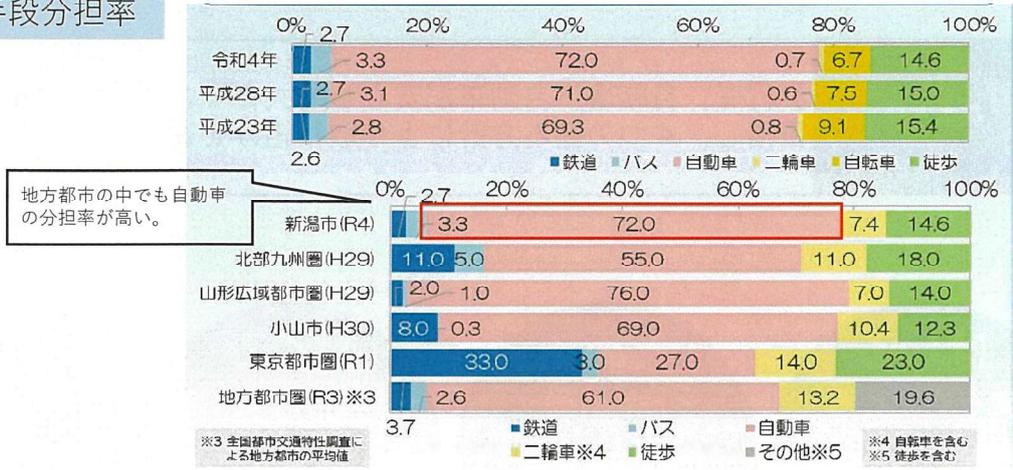
- ・ 国際空港「新潟空港」
- ・ 国際拠点港湾「新潟港（西港・東港）」
- ・ 高速道路「北陸自動車道」「磐越自動車道」「日本海東北自動車道」
- ・ JR上越新幹線

4

4. 新潟市の移動特性



代表交通手段分担率



令和4年度 新潟市内都市交通特性調査結果【概要版】より

自転車事故件数

令和6年の自転車事故件数は、昨年と同数でしたが、死者数は減少し自転車事故による死者はいませんでした。令和2年度以降、交通事故全体数に占める割合は減少傾向にあります。

自転車事故発生状況

	R2	R3	R4	R5	R6
全事故件数	1,320	1,221	1,196	1,191	1,191
発生件数	228	186	192	177	177
死者数	0	1	4	2	0
全事故に占める自転車事故の割合	17.3%	15.2%	16.1%	14.9%	14.9%
対歩行者事故件数	4	2	7	5	6

★ヘルメットの着用率：新潟県 8.0% 全国44位 (全国平均17.0%) 令和6年 自転車ヘルメット調査率調査結果 (警察庁調査)

5. 自転車利用環境推進事業



計画の策定にあたって

計画策定の背景

自転車は幼児から高齢者まで利用できる身近で便利な交通手段であり、環境への影響が少なく健康増進につながり、災害時の交通手段としても有益であることから、さらなる活用が期待されています。

一方、通勤等における自動車依存度の高さ、自転車に関わる様々な事故の発生、路上駐輪や放置自転車等が社会問題となっています。

計画の目的

市民に身近な乗り物である自転車の利用環境を整備し、

- 歩行者及び自転車利用者の安全確保
- 自転車の交通事故の削減
- 環境にやさしく、健康に良く、災害時の移動にも役立つ自転車利用の促進

を目的に「新潟市自転車利用環境計画」を策定します。

将来像

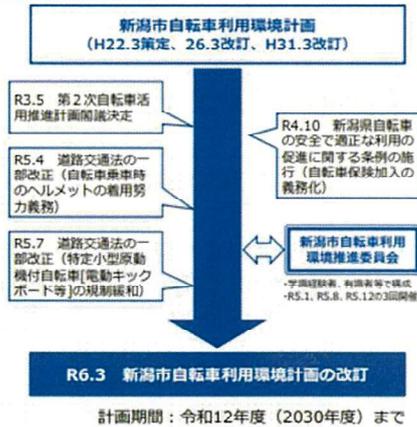
自転車利用環境の将来像

歩行者、自転車、自動車が
安全で安心して共存できるまち“にいがた”

環境に優しく、健康増進につながり、災害時にも有効な交通手段として活用を期待できる、自転車を活かしたまちづくりを進めるため、歩行者、自転車、自動車が安全で安心して共存できる道路空間を構築します。



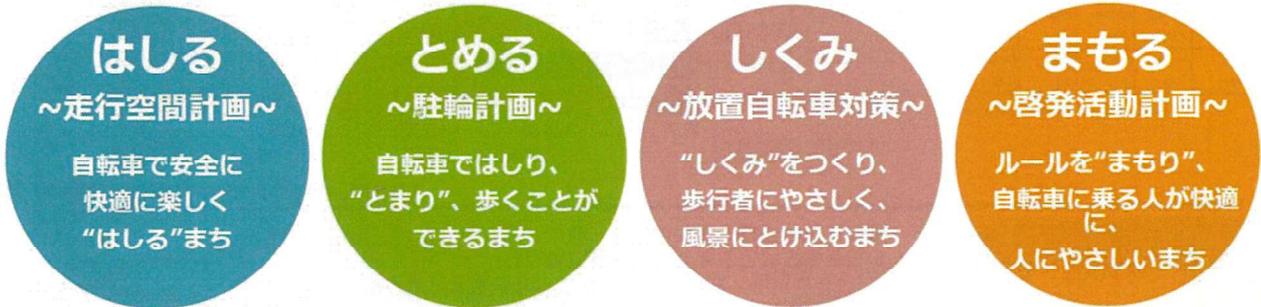
計画改訂の経緯



6. 自転車利用環境計画の基本方針



基本方針 歩行者、自転車、自動車が安心して共存できる道路空間の構築を目指し、4つの基本方針により取り組みを進めます。



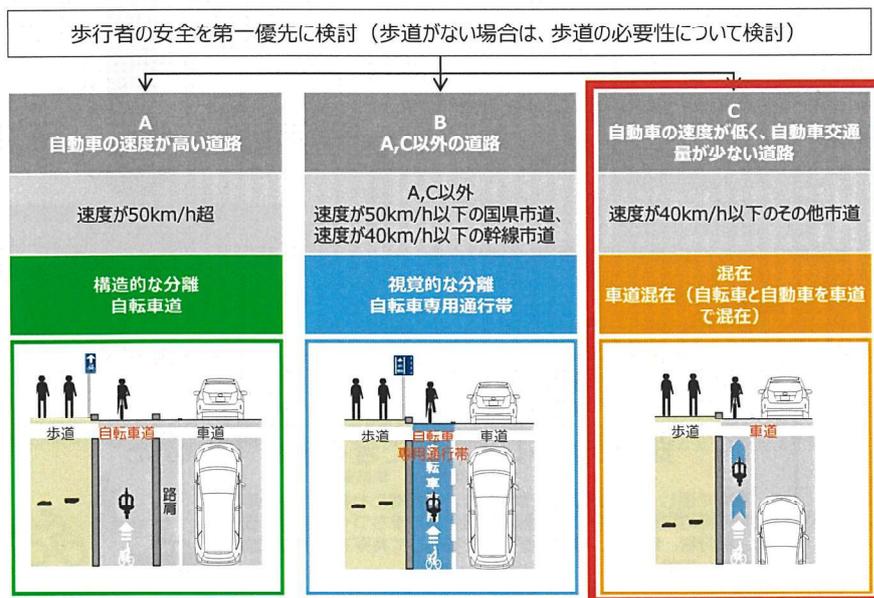
7

7. はしる～走行空間計画～



- 「自転車が安全で快適に走行できる連続した走行空間ネットワークの形成を図ること」「歩行者の安全を第一優先とした道路空間を構築すること」を基本方針として、走行空間計画を策定。
- 令和6年度末現在、自転車走行空間ネットワーク路線の計画延長281.9kmのうち、160.9kmを整備しています。

<整備形態>



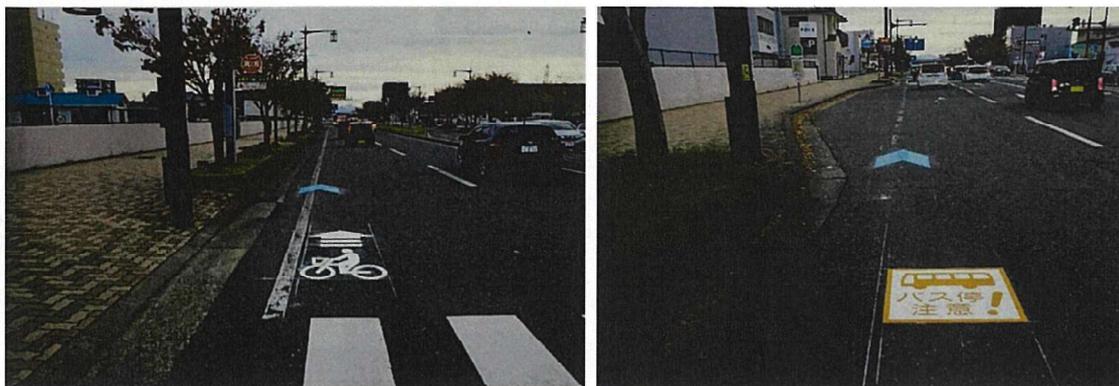
8

7. はしる～走行空間計画～



<走行空間ネットワーク路線の整備>

- 既設道路の整備は、主に車道混在（矢羽根型路面表示）で進めています。
- 自動車交通量が多い路線や道路幅員が狭い路線など、**自転車走行空間の整備が困難な路線が存在**するため、**整備延長は近年伸び悩んでいます**。
- このような路線について、適切な自転車走行空間の確保に向けて、**舗装修繕のタイミングに合わせて、道路空間の再構築（区画線の見直しなど）を行うなど、自転車走行空間整備実施に向けて検討を行う**こととしています。



中央区笹口紫竹山線（新潟駅南口から南に向かう1級市道（片側2車線道路・歩道））の整備状況



9

8. とめる～駐輪計画～



<自転車等駐車場の整備>

対象：自転車および原動機付自転車

原則、50ccを超える原付・自動二輪車は対象外（施設によって原付は対象外）

・有料自転車駐車場	市内	1箇所	収容台数	967台
・無料自転車等駐車場	市内	109箇所	収容台数	合計 約25,600台

まちなかの駐輪場整備

交通事業者、商店街、交通管理者等と連携し
空きスペースを有効活用するなど
利用しやすい場所での駐輪場整備

鉄道駅周辺の駐輪場整備（新潟駅以外のJR駅）

自転車利用者が集中する公共交通機関等と
結節する位置に利用しやすい駐輪場を整備



10

8. とめる～駐輪計画～



<自転車等駐車場の整備>

有料自転車駐車場 自転車専用 / 駐輪禁止区域内
1箇所 収容台数 967台

石宮公園地下自転車駐車場 (有人施設)
利用時間 午前6時～午後11時
定期利用 (1か月) 一般2,000円・学生1,000円 ※
一時利用 1日1回につき 100円 ※
※一部利用料免除の特例あり

石宮公園地下自転車駐車場の利用について

この駐車場は、自転車専用です。利用申込みは、自転車専用管理室で行っています。

注意事項

- 1. 自転車は指定の区域のブロックに置き、駐輪禁止区域は避けてください。
- 2. 夜間、悪臭のある便所を持ち込まないでください。
- 3. 駐輪禁止のため、自転車には必ず鍵をかけてください。
- 4. 駐輪場内における悪臭、火災、盗難等については、一切責任を負いません。
- 5. 利用期間を過ぎた自転車は撤去いたします。
- 6. 駐輪場内では、自転車の盗難に気づいてください。

利用料	定期利用	一時利用
1日1回につき100円	2,000円	1,000円

管理室 →



定期利用申し込みは、駐車場内の管理室で手続き。
定期利用券、一時利用券を券売機で購入する。現金のみ対応

11

8. とめる～駐輪計画～



まちなかの無料駐車場 中央区古町地区
9箇所 / 収容台数 計 1,619台
原則、50CCを超える原付・自動二輪車は対象外
※施設によって原付は対象外



西堀通6番町自転車等駐車場
(台数80台/原付可/24時間)



古町 古町駐輪場マップ Furumachi Bicycle Parking Station map
駐輪場に停めて歩きやすいまちに!

※駐車場の名称・台数・利用時間等は、必ず新設・変更された駐車場の案内板を必ずご確認ください。

西堀通自転車駐車場 台数70台	西堀通自転車専用駐車場 台数14台、原付可	本町通5番町自転車駐車場 台数17台
上流町自転車駐車場 台数155台	川崎駅前 台数180台、原付可	本町通6丁目自転車駐車場 台数44台、原付可
新堀通自転車駐車場 台数80台	西堀通6丁目自転車専用駐車場 台数80台	本町通6丁目自転車駐車場 台数155台

利用時間 P: 6:00~23:00 P2: 6:00~24:00 ※50cc以下原付・自動二輪車は駐車できません。

※駐輪場外に停めた自転車は撤去の対象となります
放置された自転車は、返還時に返還費用2,000円がかかります
市が撤去した放棄自転車は、返還時に返還費用2,000円がかかります

問い合わせ先 新設・変更された駐車場の案内板
新設・変更された駐車場の案内板
新設・変更された駐車場の案内板



西堀通自転車駐車場
(台数700台/6:00~23:00)



新堀通自転車駐車場
(台数80台/24時間)

古町地区の駐輪場整備とともに
既設駐輪場の利用推進を図りました。

駐輪場の立地状況が分かるように、
駐輪場マップを作成し公表、
GISデータの位置情報提供などを行っています。

路上駐輪台数は減少しており、
収容台数は概ね足りているものの
路上駐輪台数は一定数残存しています。

12

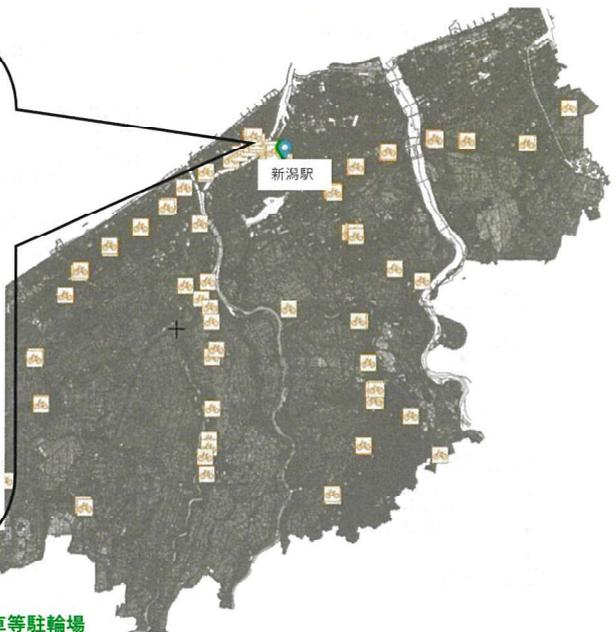
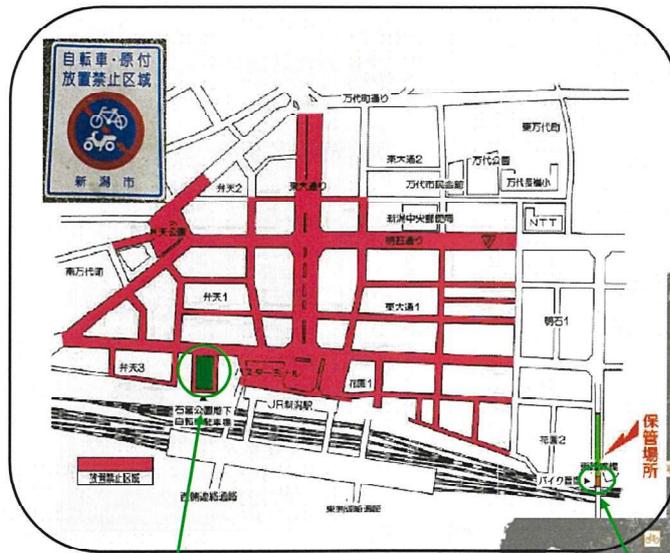
9. しゅみ～放置自転車対策～



<自転車等放置禁止区域の設定>

新潟駅万代口周辺

1箇所



有料自転車駐輪場
石宮公園地下駐輪場
(967台)

無料自転車等駐輪場
東ご線橋下駐輪場
(104台)

9. しゅみ～放置自転車対策～



<放置自転車の撤去・保管・返還>

- 放置禁止区域以外
調査札の取り付け後、7日間放置された場合、警告札を取り付け、さらに7日間放置された自転車を撤去、保管します。
- 放置禁止区域
警告札を取り付け、2、3時間放置された自転車を撤去、保管します。
- 所有者調査等を経て返還通知を行い、返還します。
返還時徴収金額【自転車：2,000円 原付 3,000円】
- 引き取り手がないものは告示から6か月後に処分します。



調査札の取り付け状況



警告札の取り付け状況

放置自転車対策状況

	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
撤去台数	3,691	2,971	2,538	2,247	2,087	1,756	1,485	1,081
返還台数	700	532	428	338	181	285	205	225
再生台数	160	127	135	126	20	55	142	113

【令和6年度実績】 ※ () は禁止区域内の数値を示す。

撤去台数	自転車	1,797台、	原付	4台
	(自転車)	83台、	原付	0台)
返還台数	自転車	255台、	原付	0台
	(自転車)	40台、	原付	0台)
処分台数	自転車	582台、	原付	0台
	(自転車)	16台、	原付	0台)



ご線橋下を利用した保管庫の状況

10. まもる～啓発活動計画～



＜自転車利用者への啓発＞

- ▶ 車道左側通行や、路上駐輪への注意喚起に関するホームページやチラシによる啓発



＜街頭指導＞

- ▶ 交通安全担当課（各区総務課・地域総務課・区民生活課）が行っている街頭指導で、自転車に関する街頭指導を実施しています。
- ▶ 効果的な場所で街頭指導を行ってもらうために、**自転車走行空間整備の竣工後に交通安全担当課に整備済み路線の情報提供をしています。**

15

11. 新潟駅周辺整備事業



R4.6.5 全線高架化



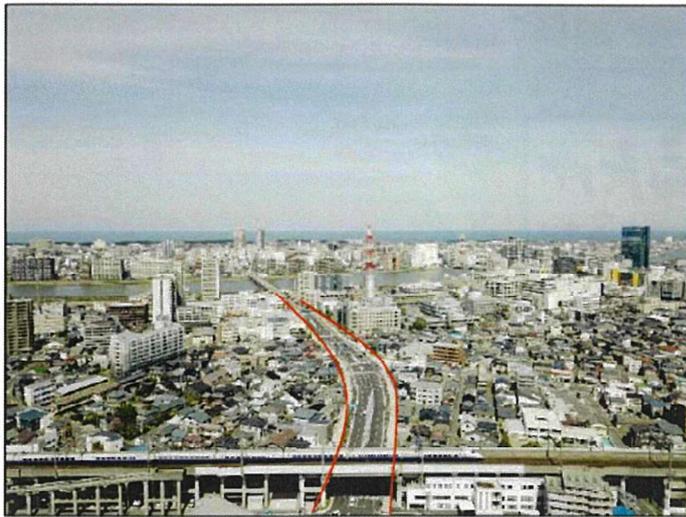
R6.3.31 新潟駅バスターミナル供用
(高架下交通広場)



万代広場完成イメージ

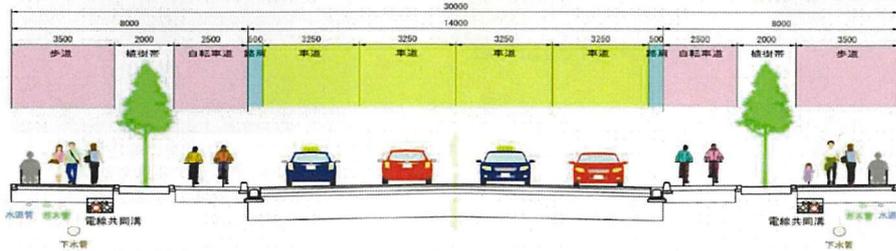
16

11. 新潟駅周辺整備事業 自転車道



南から北を望む

令和2年3月撮影



安全性・利便性の向上（自転車道）

◆自転車道の設置

ガイドラインに基づき設置。歩行者との完全分離を図り歩行者の安全性が向上。幅員2.5mを設け、自転車は対面通行ができる。



◆自転車専用信号

対面通行に伴い自転車の安全性確保のため設置。現時点で、新潟市では本路線にしか設置されていない。

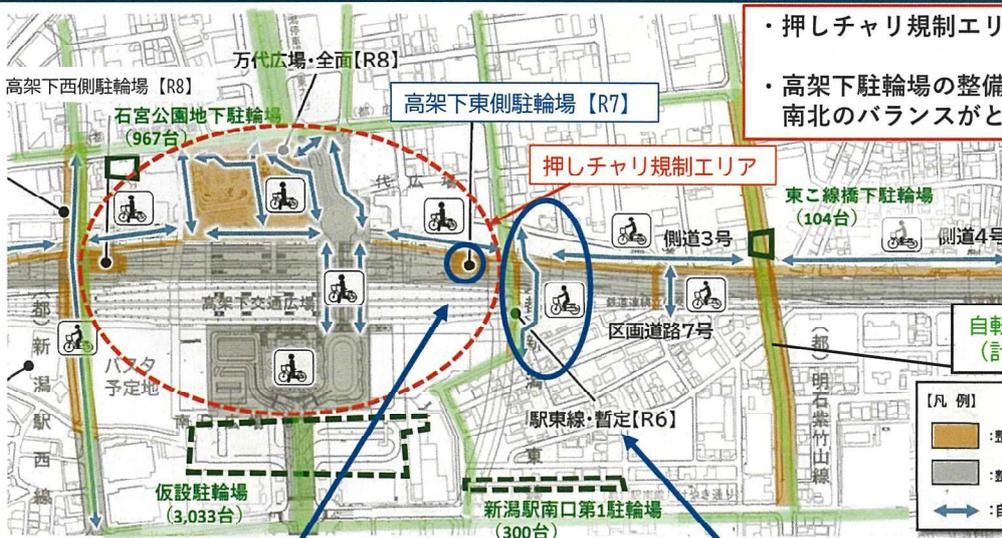


◆各種標識

交通規制看板を設置。道路法上の規制をかけた。また、歩行者・自転車分離標識を設け、初めて通る人にも視覚的にわかりやすい案内とした。



11. 新潟駅周辺整備事業 自転車動線計画



高架下東側駐輪場 無料駐輪場
令和7年度末 供用開始予定 2段ラック式 N=1,011台



(都) 新潟駅東線
令和7年3月31日供用開始

12. にいがた2km



2km にいがた2キロ
新潟都心のまちづくり

新潟港
万代島地区
古町地区
万代地区
新潟駅周辺地区

「古町7番町地区(古町ルフル)」

既存資源を活かした魅力的な水辺空間
「ミスベリング信濃川やすらぎ堤」

「にいがた2kmシェアサイクル」を導入。令和4年9月よりサービス開始

中心市街地である「新潟駅」-「万代」-「古町」地区をつなぐ都心軸“ほぼ2キロメートル”をにいがた2kmと名付け、“ワクワク感”や“期待感”につながるまちづくりを推進

“まちなかの回遊性向上”と“公共交通の補完”を主目的に延いては“まちなかの活性化”に資する取り組みとして、

19

12. にいがた2km



至 万代シティバスセンター
至 新潟市役所

至 北陸自動車道(新潟亀田IC)

中・長距離バスターミナル

- 中・長距離バスの乗降場を集約し、多様なモビリティと連携した新たな交通結節点を整備
- 子育て支援施設等や中・長距離バス利用者のニーズに対応した施設の整備により快適なバス待ち空間を確保

円滑に通行可能なアクセス道路

- 中・長距離バスと路線バスの運行経路を分離し、円滑に通行可能なアクセス道路を確保

人・公共交通を優先した道路空間

- まちと一体となり、人が集まりやすく観光客にもわかりやすい動線が確保され道路空間を形成
- 基幹公共交通軸の確保

駅周辺の防災拠点

- 災害時における帰宅困難者の一時避難所としての空間を確保
- 災害情報、公共交通機関の運行情報等を提供する情報発信拠点としての機能

新たな中・長距離バスターミナル

点在する中・長距離バス停をひとつに集約

中・長距離バス運行ルート

路線バス運行ルート

万代広場

JR新潟駅

南口広場

中・長距離バス停

イメージであり、整備内容を決定するものではありません

ご清聴ありがとうございました

来年、新潟市でお待ちしています



新潟市サポートキャラクター
はなのこまち・ささだんごろう
花野古町・笹団子郎

